

ステアリングリモコン対応キット
(ダイレクト接続 - パラレルタイプ)
ホンダ シビック専用

取り付け解説書



安全に正しくお使いいただくために

- 取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本製品は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの DC24V 車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。
- 車両に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となります。
- 本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。
- ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

- 車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。
- 直射日光や、ヒーターの熱風があたる場所などへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
- 取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。
- 車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

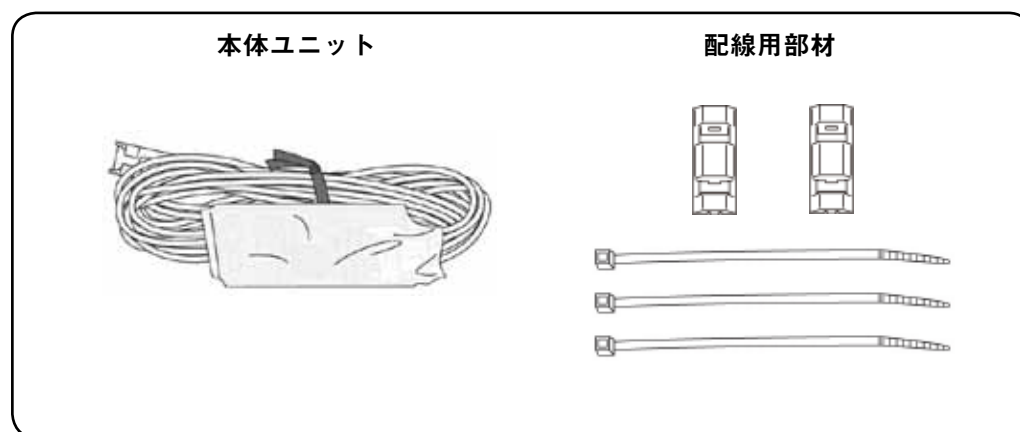
はじめに	4
梱包内容	4
各配線の説明	4
動作について	5
取り付けできる車両、カーナビ・カーオーディオ	5
取り付けに関する注意事項	5
取り付け方法	6
カーナビ・カーオーディオを取り外す	6
車両側配線を接続する	6
カーナビ・カーオーディオのコントロールジャックへプラグ を差し込む	6
設定を行う	6
取り付け方法	6
24 極コネクタピン配置図	8
20 極コネクタピン配置図	9
カーナビ側への配線の接続	10
設置後の確認	11
カーナビ・カーオーディオの設定を行う	12
カーナビ・カーオーディオの設定を行う2	13
本ユニットの出力信号を変更する	14
操作方法	15
高度な使い方	16
キーマップ表	16
おススメの設定	17
トラブルシューティング	19

はじめに

このたびは当社製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。製品は全機能をテストした後に出荷させて頂いておりますが、万一不良品でありました場合は速やかに代替品と交換させていただきますので、ご購入いただきました販売店へご連絡ください。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴することがありますのでご了承願います。なお、製品保証については保証書に記載の内容となります

梱包内容

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 本体ユニット | 1 台 |
| 2. 取り付け解説書（本解説書） | 1 部 |
| 3. 保証書（取り付け解説書に記載） | 1 部 |
| 4. 配線用部材（ワンタッチコネクタなど） | 数個（製品により異なります） |



各配線の説明

ユニット本体からは 8 本の配線が出ています。使用している電線は AWG22（約 0.33SQ 相当）ですので、ワンタッチコネクタや配線接続用部材を使用する場合は適合電線をよくご確認ください。

- | | |
|-------|-----------------------|
| 黒 | (-) GND（車両アース） |
| 赤 | (+) +12V アクセサリ電源 |
| 茶 / 白 | (+) ステアリングスイッチ CAN（H） |
| 茶 / 黄 | (+) ステアリングスイッチ CAN（L） |
| 茶 / 黒 | (-) 未 使 用 |
| 水 | (+) ナビコントロール SW1 出力 |
| 橙 | (+) ナビコントロール SW2 出力 |
| 緑 | (-) ナビコントロール SWG 出力 |

取り付け方法

ユニットの配線のうち「茶 / 白・茶 / 黄・赤・黒」を車両へ接続し、「水・橙・緑」をカーナビへ接続します。

※茶 / 黒は未接続となります。

※ステアリングスイッチの表示と実際に動作する機能が異なる場合があります。

※ステアリングスイッチは下記のボタンが使用できます。

■基本的に使用できるボタン

「VOICE (ソース切り替え)」「音量上げる」「音量下げる」

「右 (チャンネル送る)」「左 (チャンネル戻す)」

■カーナビ・カーオーディオにより使用可能になるボタン

「上」「下」「オフフック (通話開始)」「オンフック (通話終了)」

1. カーナビ／カーオーディオを取り外す

カーナビ・カーオーディオを取り外します。通常は4本程度のビスで固定されており、簡単に外す事が出来るようになっています。

2. 車両側配線を接続する

本ユニットの配線を接続します。次ページ以降を参照して適切に接続を行ってください。

3. カーナビ側配線を接続する

カーナビのステアリングスイッチコントロール入力線に、本製品の配線を接続します。「カーナビへの配線の接続」ページを参照して適切に接続を行ってください。

4. 設定を行う

設定方法ページを参照の上、設定作業を行ってください。

MEMO

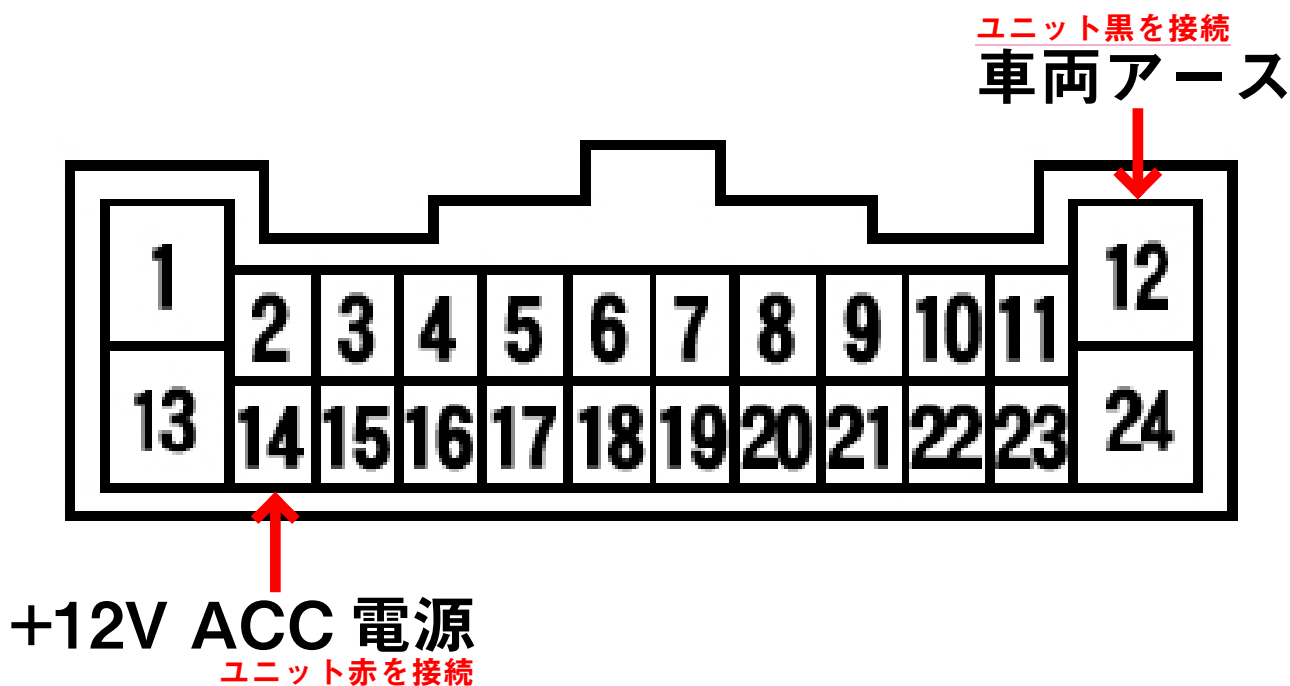
※添付の白色ワンタッチコネクタは信号線用です。接触不良の原因となりますので、添付のコネクタ以外を使用する場合は適合線径をよく確認してください。

24 極コネクタピン配置図

シビックでは24極コネクタへ電源を、20極コネクタへステアリングスイッチ信号線を接続してください。該当するページを参照の上、確実に取り付けを行ってください。

■電源線は下記の様に接続します

※オーディオコネクタを配線がでている側から見た図です



※ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

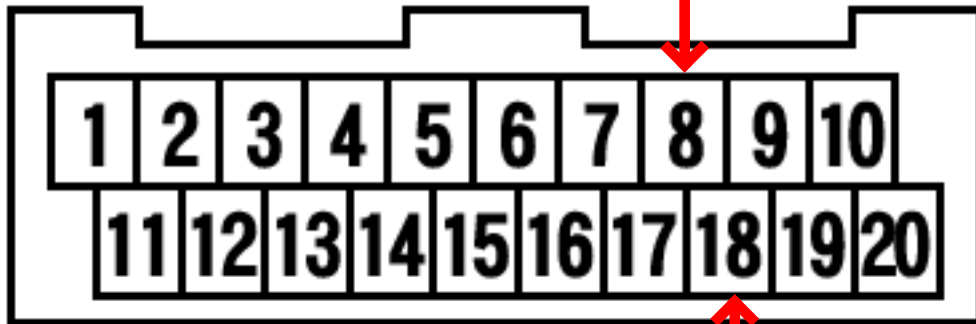
ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	14番 +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	12番 車両アース又はブラケットねじへ共締め

20 極コネクタピン配置図

- ステアリングスイッチ信号線は下記の様に接続します
- ※オーディオコネクタを配線がでている側から見た図です

ユニット茶 / 黄を接続

ステアリングスイッチ CAN(L)



ステアリングスイッチ CAN(H)

ユニット茶 / 白を接続

- ※ CAN(H) と CAN(L) を間違えないように接続を行ってください。
- ※ 茶 / 黒は未使用となります。絶縁処理してください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
茶 / 黄	⇒	8 番 ステアリングスイッチ CAN(L)
茶 / 白	⇒	18 番 ステアリングスイッチ CAN(H)
茶 / 黒	⇒	未 接 続

カーナビ側への配線の接続

■ ステアリングリモート線へ接続します

1. 本製品の水・橙・緑の3本を、カーナビへ接続します

※ギボシは抜けないように確実に差し込んでください

※メーカーにより配線色が異なる場合があります

！注意！故障の原因となりますので、カーナビの「ステアリングリモート入力」信号線以外の配線（アンテナリモート・アンプリモートなど）に本製品の配線を接続しないでください。

ユニットの配線色 ⇒		クラリオン	パナソニック	イクリップス	三菱1
水	SW1	⇒ 茶 / 白	茶	白 / 青	黒 / 白 (ST-REMO)
橙	SW2	⇒ 茶 / 黄	青 / 黄	茶	未接続
緑	SWG	⇒ 茶 / 黒	黒	黒	黒 (ST-REMO(G))

ユニットの配線色 ⇒		ケンウッド	アルパイン	三菱2
水	SW1	⇒ 水 / 赤 (KEY1)	橙 / 白	黒 / 白 (ST-REMO)
橙	SW2	⇒ 紫 / 赤 (KEY2)	赤 / 白	青 / 黒 (ST-REMO2)
緑	SWG	⇒ 灰 / 赤 (KEY4)	黒 / 白	黒 (ST-REMO(G))

※ NR-MZ60・80・90 は三菱1、NR-MZ100 以降は三菱2で接続してください



※上図のナビ配線色は一例です。ナビの説明書を参照して正しい信号線に接続してください

MEMO

！注意！

故障の原因となりますので、カーナビの「ステアリングリモート入力」線以外の端子や配線に本製品の配線を接続しないでください！

設置後の確認

- ◇ユニット本体の配線が終わったら、全ての配線が正しく接続されていることを確認してください。確認したら**ステアリングスイッチを押さずにAC電源をON**にします。このとき、本体基板上の赤色LED点灯し、緑色LEDが点滅⇒消灯することを確認してください。
⇒緑色LED・赤色LEDのどちらも点灯しない場合は電源線（赤・黒）の確認を行ってください。
- ◇ステアリングスイッチを押します。押したときに本体基板上の緑色LEDが点灯することを確認してください。
- ◇次ページ以降を参照して初期設定を行ってください。
- ◇ステアリングスイッチでカーナビ・カーオーディオが操作できるかどうかを確認してください。問題なければ、ユニット本体をカーナビ裏の配線の束等にビニールテープで固定してください。

MEMO

※固定する際にあまり強く巻きつけたりカーナビ本体と干渉する位置には取り付けないでください。ユニット内部の部品が破損したり変形してショートする危険があります。

カーナビ・カーオーディオの設定を行う

※カーナビにステアリングスイッチ学習機能がある場合は下記のように設定作業を行ってください

※設定前・設定変更前は必ずナビのステアリングスイッチ学習初期化を行ってください

1

カーナビ・カーオーディオのステアリングスイッチ学習機能で設定を行ってください。



※カーナビが操作不能になっている場合はカーナビのステアリングスイッチ初期化を行ってください

2

ステアリングスイッチでカーナビ・カーオーディオが操作できることを確認してください。正常に操作できれば完了です。



MEMO

※通常はここで設定作業は完了です。お客様のご要望がある場合のみキーマップ変更等の作業を行ってください。

カーナビ・カーオーディオの設定を行う 2

※カーナビにステアリングスイッチ学習機能が無い場合は下記の様に設定作業を行ってください

■ ステアリングスイッチ設定画面にて「トヨタ」が選択できる場合

⇒次ページを参照し、本ユニットの信号出力を「トヨタ」へ変更した後にカーナビ・カーオーディオ側のステアリングスイッチ設定を「トヨタ」へ設定してください

※ステアリングスイッチは VOICE (ソース切替)、VOL+、VOL-、SEEK+、SEEK- の 5 ボタンのみ操作できます (機種により電話柄のボタンも操作できます)

■ NR-MZ60 シリーズ・MZ80 シリーズ・MZ90 シリーズの場合

⇒次ページを参照し、本ユニットの信号出力を「マツダ」へ変更してください

※ステアリングスイッチは VOICE (ソース切替)、VOL+、VOL-、SEEK+、SEEK- の 5 ボタンのみ操作できます。本ユニットのキーマップを「省ボタンモード」に変更 (⇒高度な使い方ページを参照) すると電話柄のボタンも操作できます (ミュートとして機能)

■ ディーラーオプションナビ、メーカーオプションナビの場合

⇒次ページを参照し、本ユニットの信号出力をカーナビの車両メーカーへ変更してください

※カーナビ側での配線変更や設定が必要な場合があります

※ステアリングスイッチは VOICE (ソース切替)、VOL+、VOL-、SEEK+、SEEK- の 5 ボタンのみ操作できます (機種により電話柄のボタンも操作できます)

本ユニットの出力信号を変更する

※不用意に設定が変わらないように少々複雑な操作となっています。間違えないように操作を行ってください。

1

ACC をオンにします



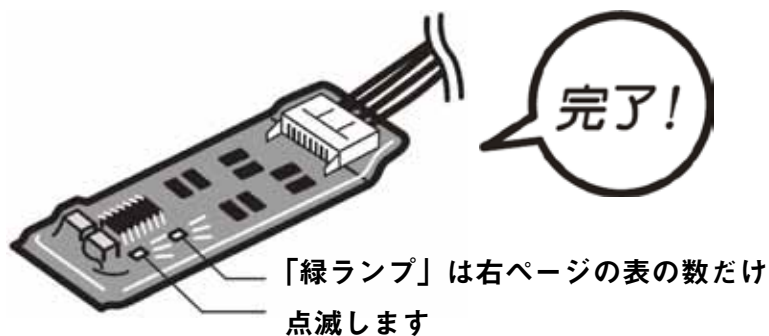
2

30秒以内に右ページの表の通りステアリングスイッチを操作してください



3

「赤ランプ」が消灯し「緑ランプ」が点滅したら設定完了です



◇操作方法

※ ACC をオンにしてから30秒以内に操作を完了させてください
※すべてステアリングスイッチで操作を行います

■ STEP 1 :

1. ACC をオンにして、ユニットが赤ランプのみ点灯するまで待ちます。
2. 30秒以内にステアリングスイッチで下記の通り操作を行う

操作内容	応答
上、上、下、下、左、右、左、右、VOL+、VOL-、 右	なし

■ STEP 2 : 続けて下記のボタンを押す

出力信号	⇒	押すボタン	緑ランプ点滅回数
トヨタ	⇒	上	1回
マツダ	⇒	下	2回
ホンダ	⇒	左	3回
スズキ	⇒	右	4回
三菱	⇒	VOL+	5回
スバル1	⇒	VOL-	6回
スバル2	⇒	オフフック（受話器を上げる絵柄）	7回
日産	⇒	オンフック（受話器を置く絵柄）	8回
トヨタ（拡張）	⇒	VOICE	9回

※初期設定は「トヨタ（拡張）」になっています。

※トヨタ（拡張）はカーナビ・カーオーディオにステアリングスイッチ学習機能がある場合のみ選択してください。

※設定変更後はすぐに出力信号が変更されます

MEMO

※設定変更が完了すると本ユニットの「赤ランプ」が消灯し、「緑ランプ」が上記表の回数だけ点滅します

※上手くいかない場合はACCをオフにしてからやりなおしてください

高度な使い方

1. 本ユニットはではステアリングリモコンのキーマップを変更することができます

MEMO

！ 注意 ！

よくわからない場合は設定を変更しないでください！

■ STEP 1 :

1. ACC をオンにして、ユニットが赤ランプのみ点灯するまで待ちます。
2. 30秒以内にステアリングスイッチで下記の通り操作を行う

操作内容	応答
上、上、下、下、左、右、左、右、VOL+、VOL-、 左	なし

■ STEP 2 : 続けて下記のボタンを押す

キーマップ	⇒	押すボタン	赤ランプ点滅回数
標準	⇒	上	1回
ホンダ互換	⇒	下	2回
ホンダ互換2	⇒	左	3回
省ボタンモード	⇒	右	4回

※初期設定は「標準モード」になっています

MEMO

※設定変更が完了すると本ユニットの「緑ランプ」が消灯し、「赤ランプ」が上記表の回数だけ点滅します

※上手くいかない場合はACCをオフにしてからやりなおしてください

キーマップ表

	上	下	左	右	VOL+
標準モード	EX1	EX2	SEEK-	SEEK+	VOL+
ホンダ互換モード	VOL+	VOL-	SEEK-	SEEK+	EX1
ホンダ互換モード2	VOL+	VOL-	SEEK-	SEEK+	VOL+
省ボタンモード	VOL+	VOL-	SEEK-	SEEK+	VOL+

	VOL-	オンフック	オフフック	VOICE
標準モード	VOL-	オンフック	オフフック	ソース切替
ホンダ互換モード	EX2	オンフック	オフフック	ソース切替
ホンダ互換モード2	VOL-	オンフック	オフフック	ソース切替
省ボタンモード	VOL-	VOICE(MUTE)	VOICE(MUTE)	ソース切替

おススメの設定

※おススメの信号出力・キーマップは下記の通りです

■ ステアリングスイッチ設定画面にて「学習」が選択でき、登録できる機能が多数ある場合

⇒本ユニットの信号出力：「トヨタ（拡張）」

⇒本ユニットのキーマップ：「標準」又は「ホンダ互換」

■ ステアリングスイッチ設定画面にて「学習」が選択でき、登録できる機能が少ない場合

⇒本ユニットの信号出力：「トヨタ（拡張）」

⇒本ユニットのキーマップ：「省ボタンモード」

■ ステアリングスイッチ設定画面にて「学習」が選択できず、「トヨタ」が選択できる場合

⇒本ユニットの信号出力：「トヨタ」

⇒本ユニットのキーマップ：「ホンダ互換2」「省ボタンモード」

トラブルシューティング

■ACCをONにしたときに赤色LEDが点灯しない

電源線（赤、黒）の接続を確認してください。アース（黒線）をカーナビのボデー部で接続している場合は、カーナビの金具を固定しないとアースされない場合がありますので確認します。

■ACCをONにしたときに緑色LEDが点滅⇒点灯と変化する

ステアリングスイッチ入力線（茶 / 白、茶 / 黄）の接続を確認してください。

■ステアリングスイッチが作動しない

1. ステアリングスイッチを押したときに、緑色LEDが点灯する場合は、プラグが確実にさしこまれている事（ケンウッド製品は、水色線の接続）を確認して、適切な設定を行ってください。
※ステアリングスイッチの全てのボタンが使えない事がありますが、正常です。
2. ステアリングスイッチを押しても緑色LEDが点灯しない場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶 / 白、茶 / 黄）の接続を確認してください。
3. ステアリングスイッチを押していなくても緑色LEDが点灯している場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶 / 白、茶 / 黄）の接続を確認してください。

本書はお買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合に、次に記載する内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

<無料保証規定>

1. 正常な使用状態にも関わらず発生した故障は無料修理させていただきます。
2. 製品の故障による次の損害は保証の対象外となります。
 - ・製品の故障により発生した作業工賃や災害
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ・使用上の誤りや、不当な修理／改造による故障・損傷
 - ・火災・水害・落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障・損傷
 - ・本書の添付がない場合、及び本書にお買い上げ店とお買い上げ日の記入がない場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しません

品番	GAP-HAVT36	
保証期間	お買い上げ日から 3 年間	
お買い上げ日	※納品書が購入証明となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。	
お客様	ご住所	_____
	お名前	_____ 様
	電話 ()	_____
販売店	住所・店名	_____
	電話 ()	_____

株式会社 ガレイラ

<http://www.galleyra.co.jp>

〒 543-0021 大阪市天王寺区東高津町 3-20 エフズビル 702 電話 06-6131-6300